美術史演習

選択　　2単位

鎌田　純子

1. 授業の概要（ねらい）
受講生が美術史の様々な研究方法について論理的に学ぶために、毎回、様々な方法論を用いた研究論文を紹介する。日本美術史研究の論文が中心となる。

2. 授業の到達目標
受講生が美術史研究の様々な方法論を学び、自分の研究に応用できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準
学年末試験（80%）と平常点（20%）をもとに評価します。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容
なるべく多くの論文を読むこと。美術館、博物館へ行き、自ら何かを発見する機会を増やすこと。

6. その他履修上の注意事項
指定した展覧会見学をしてもらうことがあります。オンライン授業にすることがあります。

7. 授業内容
【第1回】　授業の進め方と内容の確認
【第2回】　美術史の基本ーディスクリプション①
【第3回】　美術史の基本ーディスクリプション②
【第4回】　比較研究①
【第5回】　比較研究②
【第6回】　比較研究③
【第7回】　イコノロジー研究①
【第8回】　イコノロジー研究②
【第9回】　文字史料の活用①
【第10回】　文字史料の活用②
【第11回】　文字史料の活用③
【第12回】　画論を読む①
【第13回】　画論を読む②
【第14回】　展覧会見学会
【第15回】　まとめと試験